

アルギン酸エステル スノーロイド

アルギン酸の構成糖であるウロン酸のカルボキシル基をエステル化させた誘導体です。冷水や温水に良く溶けて、粘ちような水溶液となります。

スノーロイドの特徴

- ・ pHに左右されず安定した性質
- ・ Caイオン濃度が高くても使用可能
- ・ 増粘剤でありながら、油/水系の乳化安定剤としての機能を有する
- ・ 起泡力が高くなり、気泡安定性、保持時間を大幅に改善



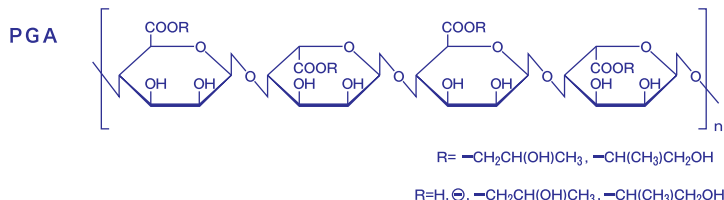
基本情報

表示名称: アルギン酸PG

成分番号: 550598

INCI: Propylene Glycol Alginate

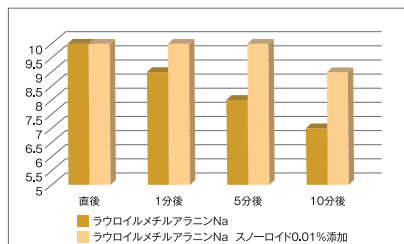
中国INCI: 丙二醇藻酸酯



PGA (アルギン酸エステル) は、PG (プロピレングリコール) と名称が似ていますが、全く別の物質となります。

界面活性剤との相溶性

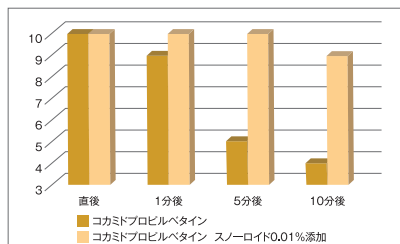
安定性、起泡力が高くなり、きめ細かい起泡性を実現します。



【ラウロイルメチルアラニンNa】
10%水溶液



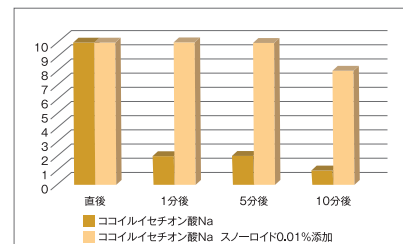
無添加 スノーロイド
0.1%添加



【コカミドプロピルベタイン】
10%水溶液



無添加 スノーロイド
0.1%添加



【ココイルイセチオン酸Na】
10%水溶液



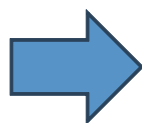
無添加 スノーロイド
0.1%添加

ぬれ性・密着性を向上

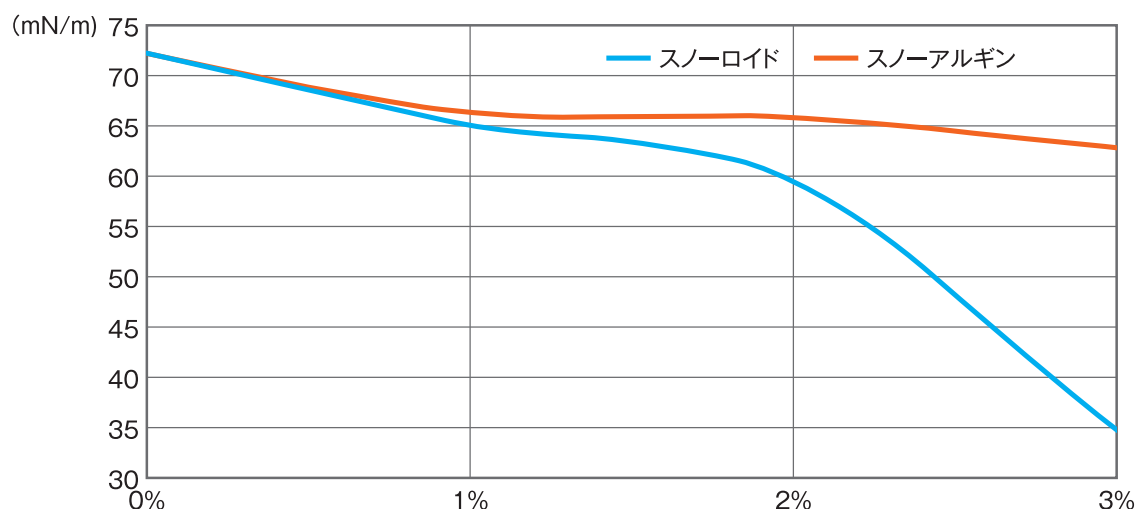
表面張力を下げることによって接触角が小さくなります。肌の浸透性(ぬれ性)が向上します。



【純水】
表面張力 72mN/m
接触角 85.7deg



【スノーロイド 3%添加】
表面張力 37mN/m
接触角 22.6deg



・乳化安定性の向上

優れた乳化剤として機能し、水と油の相互分散を安定させる特性を持っています。
分離を防ぎ均一な乳化状態を維持し製品の品質保持期間を延ばすことができます。

・増粘・ゲル化作用

液体の粘度を調整してテクスチャーを改善する効果があります。
化粧品や医薬品の分野で、使用感の向上や成分の均一分散に貢献します。

・耐熱・耐酸性の向上

高温や酸性環境に対して優れた安定性を持ちます。
数%添加で分離・沈殿を抑制します。
熱安定性に優れ加熱殺菌を必要とする製品などに優れた効果を発揮します。

・食品・医薬品への安全性

天然由来のアルギン酸を基にしており、医薬部外品原料規格や医薬品添加物として認められています。
医薬品ではカプセルやコーティング剤、化粧品では乳液やクリームの安定剤など多様な分野での応用が可能です。

 **富士化学工業株式会社**

【お問い合わせ先】

イワキ株式会社 化粧品原料部

【東京】〒103-8403 東京都中央区日本橋本町4-8-2 TEL: 03-3279-0405

【大阪】〒541-0045 大阪市中央区道修町1-4-1 TEL: 06-6201-3352

【福岡】〒812-0024 福岡県福岡市博多区綱場町8-23 TEL: 092-303-4331
朝日生命福岡昭和通ビル3F

URL: <https://www.iwaki-kk.co.jp/>